

シンポジウム「生きづらさを抱える子どもたちのために」開催要領

1. 開催の趣旨

山形県の自殺者数は平成18年をピークに減少傾向にあったが、令和3年は211人と増加。令和3年の自殺死亡率は、20.1となり全国3位となっている。令和4年は、前年と比較し減少したものの、依然として全国に比べ自殺死亡率は高い状況にある。

県内の児童生徒（10歳代）の自殺者数は、ここ10年でやや増加傾向にあり、死因の第1位が自殺という状況が続いている。特に令和2年以降は全国的にも中学生、高校生とも大きく増加しており、児童生徒の自殺予防に向けた教育や居場所づくりを学校・行政・地域が連携しながら推進していく必要がある。

そこで、「生きづらさを抱える子どもたちへの支援」をテーマに、地域における子どもの自殺予防に関するシンポジウムを開催する。

2. 日時

令和6年3月22日（金） 13:00～16:30

3. 場所

山形ビッグウィング交流サロン（山形市平久保100番地）

4. 実施主体

山形県（健康福祉部地域福祉推進課）

5. 対象者

市町村の自殺対策担当課職員、教育関係者、関係機関、一般 100名程度

6. プログラム内容

13:00～13:10 開会あいさつ 健康福祉部 堀井洋幸部長

13:15～14:45 【第1部】基調講演

テーマ：生きづらさを抱える子どもたちへの支援

講師：一般社団法人高橋聡美研究室 代表 高橋聡美氏

14:45～15:00 休憩

15:00～16:30 【第2部】パネルディスカッション

『地域で子どもの自殺予防を考える』

コーディネーター

山形県立保健医療大学 教授 安保寛明氏

パネリスト

一般社団法人高橋聡美研究室 代表 高橋聡美氏

NPO法人クローバーの会アットやまがた 理事長 樋口愛子氏

天童市立第一中学校校長 町田真裕氏

16:30 閉会